



2021年6月25日発行
通算 第219号

会員だより 2021年
7月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり
〒146-0094 大田区東矢口 3-17-2-103
Tel&Fax. 03-3734-7932 / npoogc@yahoo.co.jp
<https://hanamidori.sakura.ne.jp/>



引き続き、会員及び関係する皆さまの安心・安全な活動を第一優先とし、
新型コロナウイルス感染拡大防止への配慮にご協力をお願いいたします。

「土づくり」 「植付け」 から1か月…

三密を避け、必要最小限の人数で行った夏花壇への「土づくり」「植付け」作業。
あれから月日は流れ、現在の花壇の様子をご紹介します。
近くにお出での際は是非、実際の花壇をご覧ください。



蒲田駅南口花壇



蒲田駅北口トイレ前花壇



蒲田駅東口円形花壇



大森駅前花壇 (Milpa前)



入新井公園花壇



平和の森公園花壇





「第18回通常総会 開催報告」 5月29日(土) 入新井特別出張所4F 会議室



第18回通常総会は正会員22名中、当日出席12名、委任状出席10名で成立しました。オンラインでの参加も可能、としておりましたが、申込みはありませんでした。

2020年度の事業報告、収支決算報告、監査報告の承認後、2021年度の事務局運営組織(案)、事業計画(案)、収支予算(案)の提案がなされ、討議ののち可決され、正式に今年度が始まりました。

総会前の理事会で「事業計画として、何をするか、だけでなく、何のためにするのか、という点をもっと内外にアピールしてはどうか」という意見が出たことから、環境への意識の向上や、世界的な流れでもある「SDGs」をキーワードとして採用したことが、今年度の計画の、特徴となっています。



事業計画 概要

- 当会の設立当初の目的に対する成果及び到達度を意識し、また、時代の動きに合わせて適宜見直しによる再設定を行い、達成感を感じられる活動を目指す。
- コロナ禍において、公園やみどりの価値が見直されている時代であることを受け、当会として何ができるのか、を考える機会を積極的に創出していく。
- 「大田のみどり×SDGs」をテーマに、まずは会員へのアピール、そこから、外への発信を図っていく。
- オンライン配信やSNS等の活用に積極的に取り組み、会のアピールに力を入れる。
- 一昨年度に開催した正会員・運営委員研修から生まれたキャッチコピー「生涯(動けなくなるまで)活動できる会にしよう!」を目指して、それぞれの活動における配慮や目標設定を行い、日ごろから心がけていく。
- 会員の高齢化、およびコロナ禍における活動を受けて、活動現場の安全確認および課題の早期発見、解決のため、事業部・長副及び事務局による巡回を適宜行う。

2021年度事業計画(案)の討議で「いきなりSDGsという言葉を使うのは、会員の皆さんに伝わりにくいのではないか?」という意見があり、会員日より簡単に概要を説明することとなりました。

SDGsとは2015年に国連で開かれたサミットの中で決められた、2030年までに達成する国際社会共通の目標を言います(資料は3ページに)。

SDGsは、短くは「持続可能な開発目標」と表現されていますが、少しわかりやすく言うと「将来の世代のために、環境や資源を壊さずに、今の生活をより良い状態にするための目標」ということです。企業や行政、市民が、それぞれの立場からできることを考えて行動する際の指針として、定められています。

難しいことでなく、小さなことからでも、取り組むことができます。例えば「**目標12 つくる責任 つかう責任**」という項目ありますが、会ではすでに、これに相当する行動として、一昨年より「プラごみをできる限り減少させる目的で、イベントの際に手渡す袋などプラ製品を使わずに紙製品で渡す」などを心がけてきています。SDGsを会の今後の行動に積極的に取り入れつつ、その姿勢を会の内外に示していきたいと考えています。

(内田秀子)



「SDGs」とは

最近、新聞やテレビの中でよく聞くようになった「SDGs(エスディーゼズ)」という言葉。日本でもほぼ2人に1人が「聞いたことがある」と答えるなど、その認知度は確実に上がっています。

「SDGs(エスディーゼズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月に開催された国連サミットで決められた、国際社会共通の目標です。「貧しい人々が取り残され、地球環境は悪化しており、このままでは世界が立ち行かなくなる」という強い危機感のもとに作られました。SDGsは特別なものではなく、私たち一人ひとりが「自分ごと」として捉え、それぞれの活動、生活の中に浸透させていくことが大切です。国連広報センターのウェブサイト「持続可能な社会のために ナマケモノにもできるアクション・ガイド」がありますが、私たちにもできることがたくさんあるということに気づかせてくれます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- 目標 1 貧困をなくそう
- 目標 2 飢餓をゼロに
- 目標 3 すべての人に健康と福祉を
- 目標 4 質の高い教育をみんなに
- 目標 5 ジェンダー平等を実現しよう

- 目標 6 安全な水とトイレを世界中に
- 目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 目標 8 働きがいも経済成長も
- 目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標 10 人や国の不平等をなくそう
- 目標 11 住み続けられるまちづくりを
- 目標 12 つくる責任 つかう責任
- 目標 13 気候変動に具体的な対策を
- 目標 14 海の豊かさを守ろう
- 目標 15 陸の豊かさも守ろう
- 目標 16 平和と公正をすべての人に
- 目標 17 パートナリシップで目標を達成しよう

(国連広報センター資料より)

大森南圃場より

「オンライン配信」6月11日(金)

大森南圃場は、当会の活動開始当初より18年間、管理作業をしつつ自主活動の場としても大いに活用してきた場所です。大田区にこんな場所があった、ということ動画を残しておけたら…。圃場としての最後の姿を、感謝の気持ちを込めて、ライブ配信希望の皆さんに現地より

Zoomで中継しました。



コミュニティガーデン講座 補講

「多年草花壇づくり講座」 講師:東方陽子氏

6月20日(日) 梅田第一児童公園

昨年度までの、区民協働事業によるコミュニティガーデンづくりで講師をお願いした東方陽子先生をお招きして、まだ一年草類が多いふれあいパークの花壇に、多年草を導入するポイントを伺いました。



会員の皆様へ

コロナ禍の現在、すべての活動現場でメンバーを限定し、定員を設けてシフト制で活動しております。会がスタート以来大事にしてきた「活動への参加自由、不参加自由」がままならない状況は大変残念です。

このたび、大森南圃場管理委託の契約は5月31日に終了したことに際して、圃場で活動されていた会員から「他の活動場所に参加したい」との声が上がっています。これを機に、圃場のメンバーだけでなく、会員全体に向けて「現在登録メンバーになっていないが、参加してみたい活動場所がある方には、お声を挙げてもらおう」ということになりました。各活動場所での見学会や研修会等を実施した後に、シフトに入って頂けるようにいたします。

希望される方は、必ず、事務局までメールもしくはFAXにてご連絡ください。お電話では受付できませんので、ご了承くださいませよう、よろしくお願いいたします。

マスクと過ごす2度目の暑い夏がやってきます！ 作業中の安全・体調管理に気を付けてください。

自粛生活による運動不足や、マスクを外す煩わしさから水分補給を控えがちになることなど、生活の変化によって、そもそも熱中症のリスクは高まっているという指摘もあります。これからの時期、重要になってくる熱中症対策。簡単にできる方法をご紹介します。



1. 冷たい流水で手首までしっかり洗う

ウイルスを洗い流すと同時に、血管が皮膚に近い手首を冷たい水で冷やすことで、効率的に体温を下げる効果がある。

2. ぬれたタオルで顔や頭を拭く

顔や頭、首を冷やすと体温が下がりやすい。また水分が蒸発する際にも熱を奪う。

3. 定期的に水分をとる

「のどが乾いたら」ではなく食前、食後、入浴前後、寝る前など時間を決めて水分をとるようにする。



水分補給は、マスクをしていると付けたり外したりする面倒くささからつい我慢してしまいがちです。



自分なりにルールを決めてこまめに水分を摂取するのがいいかもしれません。ちなみに、厚生労働省は1日当たり1.2リットル、1時間ごとにコップ1杯を目安としています。また、汗をかいたら水分だけでなく、塩分の補給も必須です。お忘れなく！

4. エアコンを使う

室温が28℃を超えたら冷房をつける。暑がりな人に合わせる。



※既にワクチン接種を済ませた方もいらっしゃると思います。ワクチン接種により感染しにくくなる他、感染した場合にも症状が軽くなるのが期待されますが、なかには2回接種しても感染した例が全国で複数報告されているとのこと。厚労省の担当者は「ワクチンは発症を予防する効果が100%ではない」とし、来春まで“マスク”継続着用などの対策を要請しています。(インターネット参照)



蒲田花壇リーダーミーティングで利用している「レンタルスペース HANPA はすぬま」(事務所のご近所です)のオーナーさんが私たちの活動している花壇の写真を撮って届けてくださいましたので、事務局に掲示しました。ありがとうございました！(蒲田花壇担当 荻野博子)

<今月の会員だよりの同封物>

- ◆活動カレンダー ◆「せせらぎセミナー」チラシ
- ◆みどりの縁側だよりの活動アンケート(会員のみ)